



GLOVIA きらら販売 導入事例

2019年7月

東洋電機株式会社
TOYO ELECTRIC www.e-toyo.co.jp

1. システム再構築の背景とシステム化のポイント

背景

① 多品種少量化によるアイテム数の増加に対応する在庫管理が必要

➡ 製品・部品合わせて5,000種類以上のアイテムに対する正確な在庫管理

② 共通部品の設計変更に伴う原価管理・構成管理の省力化と管理精度向上が必要

➡ 設計変更時の構成管理処理の効率化。構成見直し時間の短縮

③ システムに関する投資は最小限に抑えたい

➡ パッケージを有効活用し、パッケージに業務を合わせる業務改革を実施

ポイント

① コストパフォーマンスを追求したシステム構築手法の採用

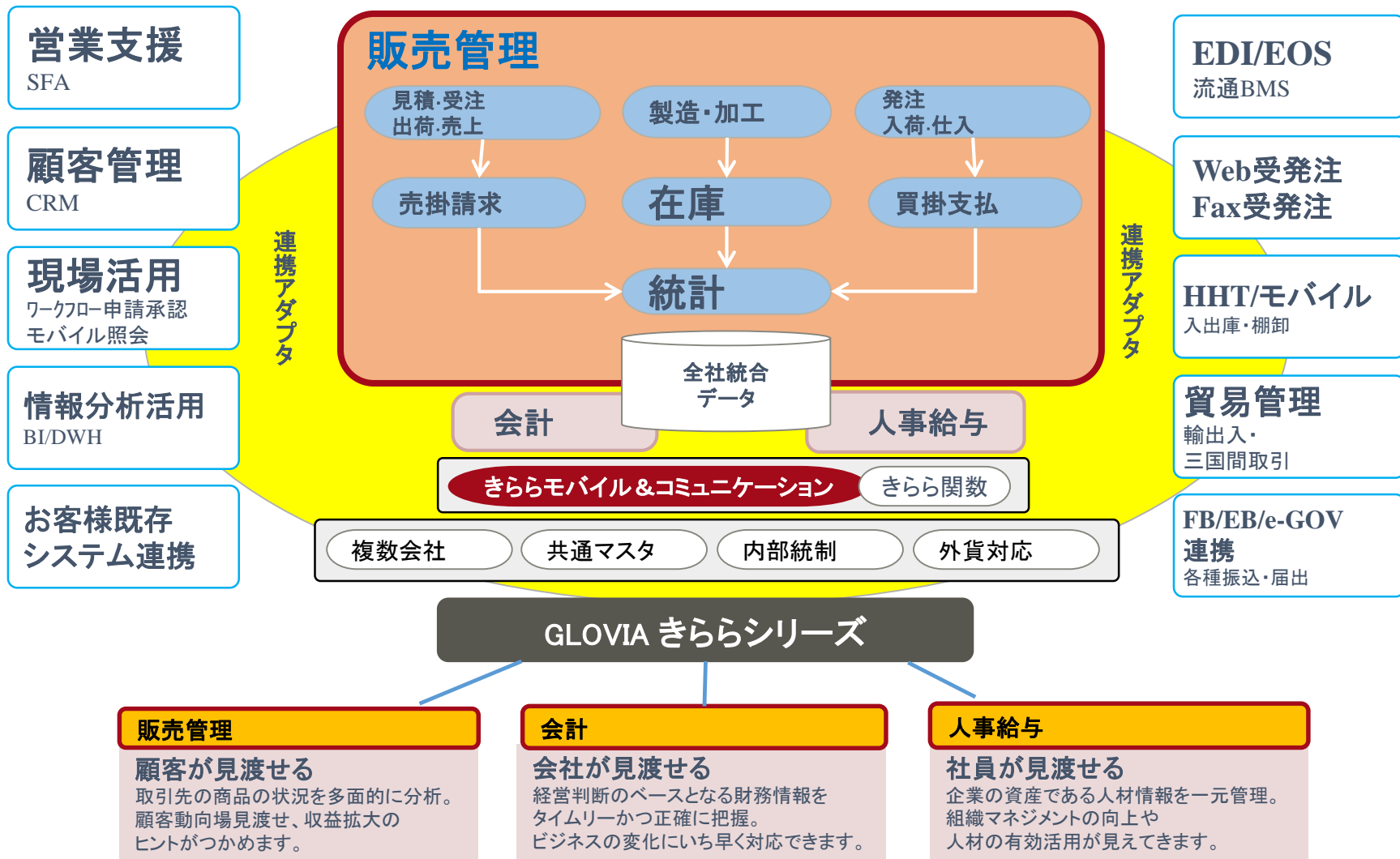
➡ 実績豊富な富士通製 GLOVIAシリーズの「きらら販売」パッケージを採用。
・パッケージの標準機能のカスタマイズを最小限に抑え、必要機能は外付けで構築。
・税制対応や制度変更時のレベルアップを容易に実現できる構築手法。

② 在庫管理の精度向上と構成管理の省力化実現

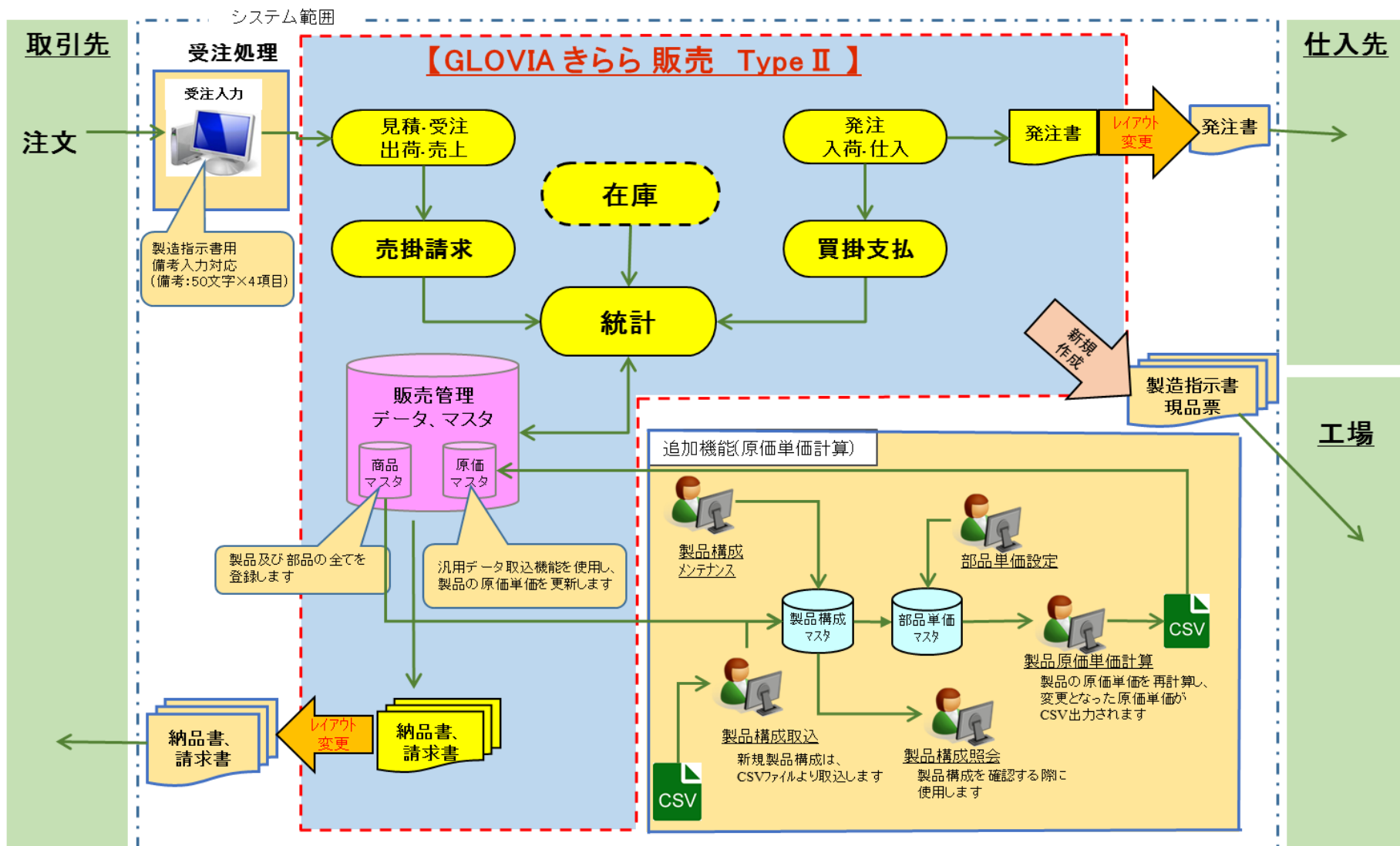
➡ パッケージの在庫管理機能を最大限活用。
・製造による部品消費と製品組み上げ処理(加工実績入力)によるリアルタイムな在庫管理
・共通部品の設計変更に伴う構成変更と原価管理機能は完全外付けで対応

2. GLOVIA きらら販売を採用

GLOVIA シリーズは、様々な業務に対応可能な統合パッケージです。



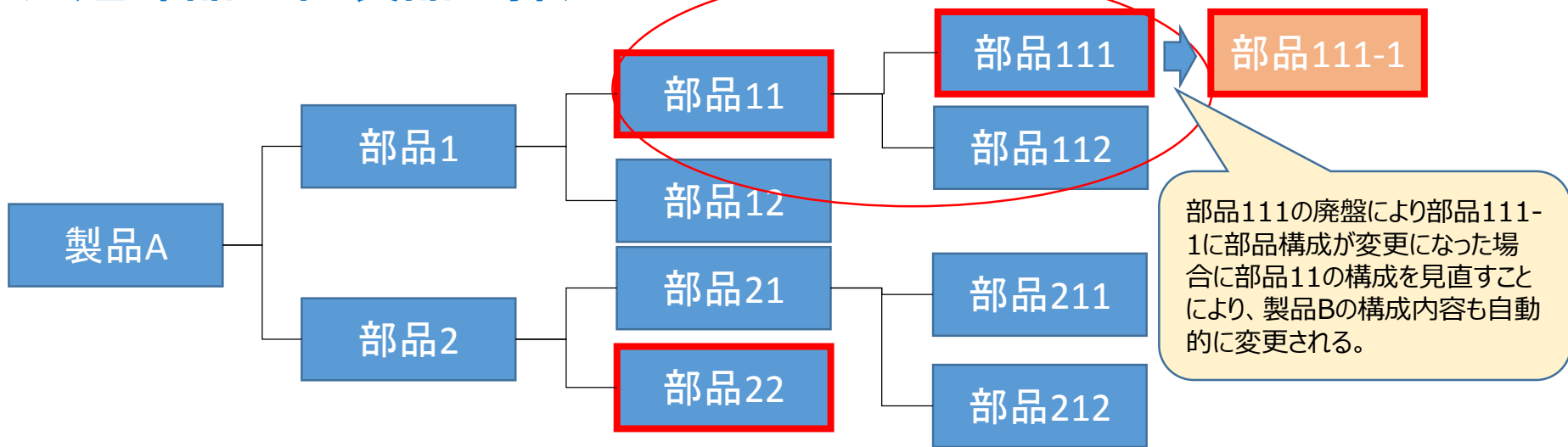
3. システム構築の範囲



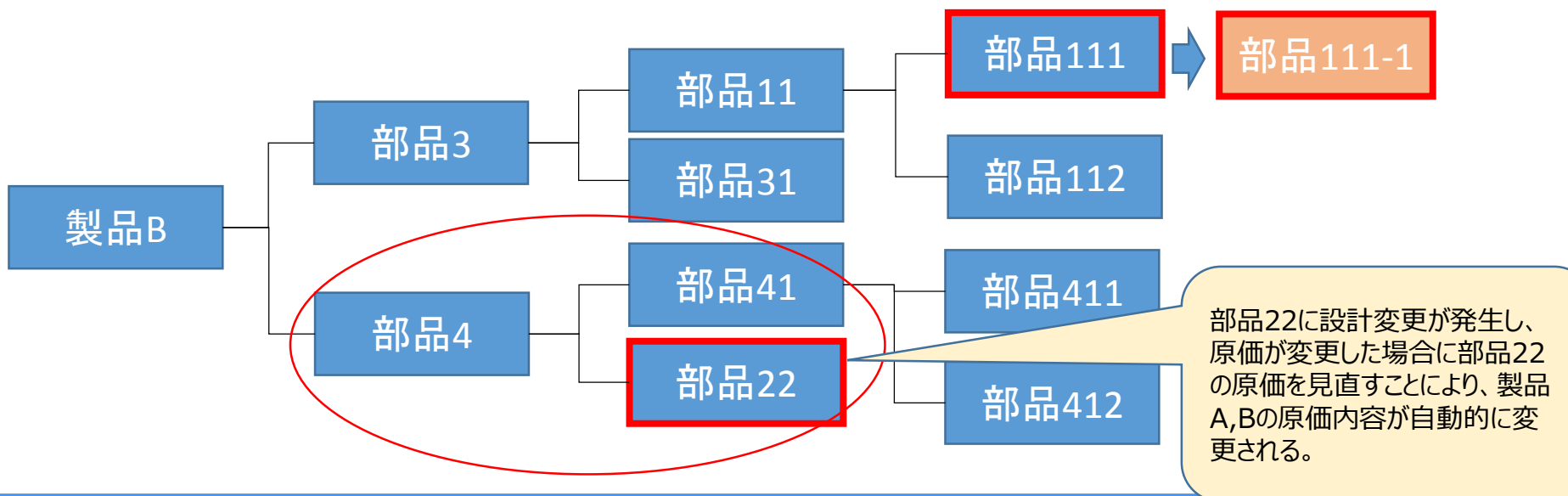
：個別ご要件による追加開発部分

4. 構成管理と原価管理の特性と保守性

共通部品が他製品で採用されている



部品111の廃盤により部品111-1に部品構成が変更になった場合に部品11の構成を見直すことにより、製品Bの構成内容も自動的に変更される。

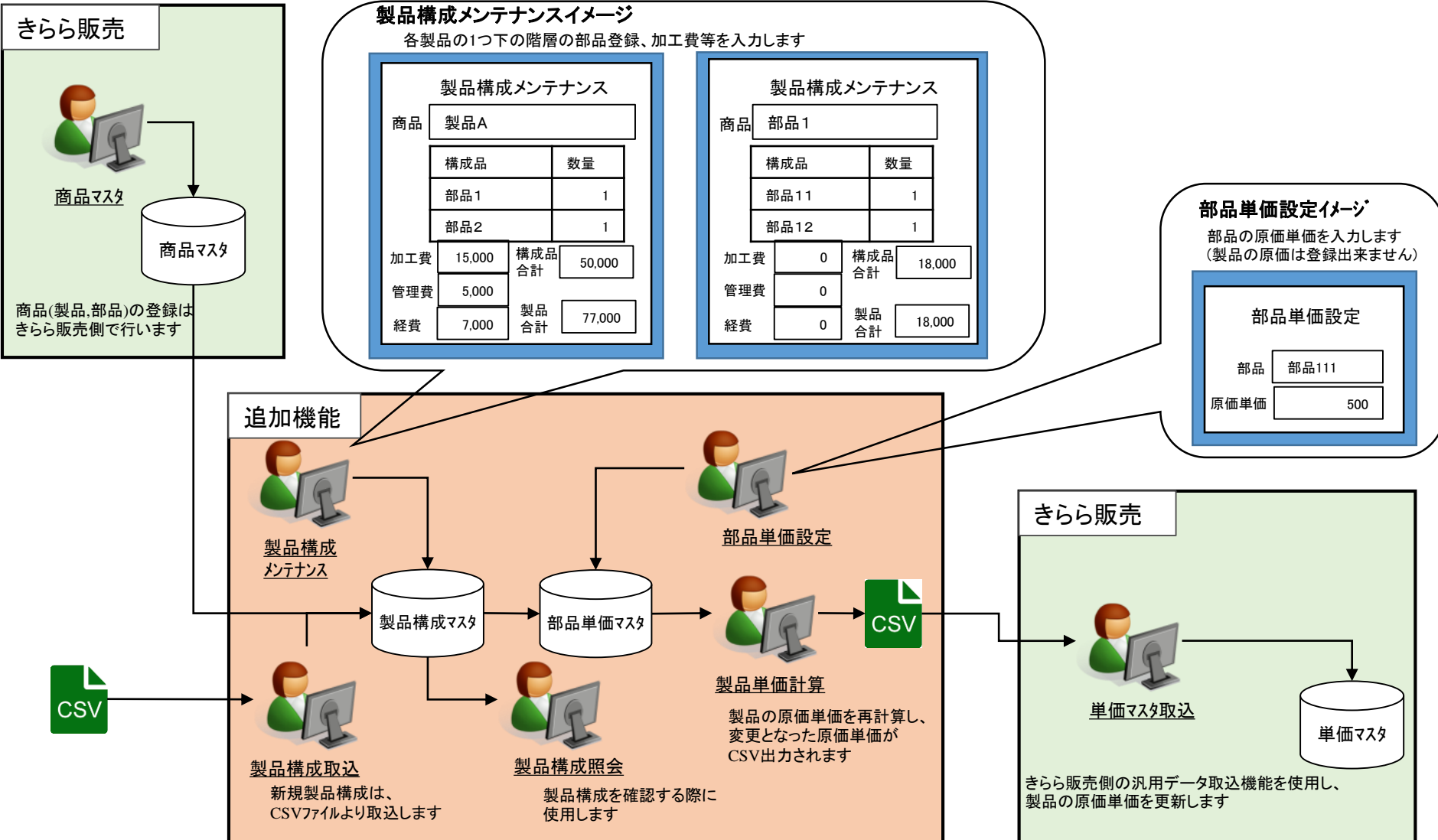


部品22に設計変更が発生し、原価が変更した場合に部品22の原価を見直すことにより、製品A,Bの原価内容が自動的に変更される。

5. 追加機能の仕様

(1) 原価・単価 計算の処理概要

部品の原価単価、製品構成登録及び製品原価単価計算を追加機能で行い、きらら販売と連携します。



(2) 製品構成のメンテナンスイメージの機能詳細

部品単価変更前

製品コード：MAX1000SXXXVR 製品原価単価 77,000

製品原価単価内訳

加工費	15,000	入力項目
管理費	5,000	入力項目
経費	7,000	入力項目
各部品費	50,000	駆動部、電源部、・・・の部品費合計

構成原価単価内訳

	構成品(階層1)	原価単価	→	構成品(階層2)	原価単価	→	構成品(階層3)	原価単価	→	構成品(階層4)	原価単価	
駆動部	K-MAX-1000	18,000		KY-MA-01	6,000		K-0019AY	200				
	P-MAX	6,000		KY-MA-02	6,000		K-0019	300				
	MA5000C	2,000		KY-MT-C7	6,000		K-0019K	500				
電源部	BP17-01	6,000					K-0019Z	300				
	BP17-02	2,000					J1-100	100				
	VY532-TT	3,000					KHT-BWE	500				
	VY321-TF	4,000					・・・					
	VY111-1F	5,000					K-0034KM	300	→	K-0034A	150	
	VY111-2F	4,000								K-0034B	150	

※単価が修正された部品を使用している全ての製品について単価を再計算します。

変更対象となった部品単価及び製品の原価単価がCSVファイルに出力されます。

部品単価変更後

- ・ 構成品の変更、部品単価及び加工費等が変更になった場合、追加機能の製品構成設定及び部品単価設定で金額を修正します。(赤字箇所)
- ・ 部品単価及び加工費等が変更になり、製品の単価が変更となった単価となります。(内部で自動計算)(青字箇所)

製品コード：MAX1000SXXXVR 製品原価単価 79,250

製品原価単価内訳

加工費	17,000	入力項目
管理費	5,000	入力項目
経費	7,000	入力項目
各部品費	50,250	駆動部、電源部、・・・の部品費合計

構成原価単価内訳

	構成品(階層1)	原価単価	→	構成品(階層2)	原価単価	→	構成品(階層3)	原価単価	→	構成品(階層4)	原価単価	
駆動部	K-MAX-1000	18,250		KY-MA-01	6,250		K-0019AY	200				
	P-MAX	6,000		KY-MA-02	6,000		K-0019	400				
	MA5000C	2,000		KY-MT-C7	6,000		K-0019K	500				
電源部	BP17-01	6,000					K-0019Z	350				
	BP17-02	2,000					J1-100	150				
	VY532-TT	3,000					KHT-BWE	500				
	VY321-TF	4,000					・・・					
	VY111-1F	5,000					K-0034KM	350	→	K-0034A	200	
	VY111-2F	4,000								K-0034B	150	

きらら販売連携用 CSVファイル

商品コード	原価単価
MAX1000SXXXVR	79,250
K-MAX-1000	18,250
KY-MA-01	6,250
K-0019	400
K-0019Z	350
J1-100	150
K-0034KM	350
K-0034A	200

きらら販売の汎用データ取込処理にて原価単価を更新します。

6. 導入効果

- ◆ 構成管理に係る管理工数が半減し、構成の一元管理による製品原価の見える化を実現
- ◆ 受注から生産指示と生産実績に伴う製品部品の在庫振替をパッケージ標準機能で実現
- ◆ 出荷から売上請求、部品発注から仕入買掛はパッケージ標準機能で標準化を実現
- ◆ パッケージの標準機能を中心にシステムを導入する事で、短納期でのシステム切替を実現
- ◆ 消費税制度変更に対する請求様式変更や軽減税率にレベルアップで迅速に対応

パッケージに業務を合わせる業務改革も行われ、その成果と相まって、現場の視点、経営者の視点、双方からの投資効果が表れています。